

第2章 環境の状況

1 社会環境

塩竈市は、宮城県沿岸部のほぼ中央部に位置し、南は多賀城市と七ヶ浜町に、西及び北は利府町に隣接しており、東は松島湾、また島嶼部(浦戸地区)は海峡(鰐ヶ淵水道)を隔てて鳴瀬町宮戸島に接しています。総面積は、県内市町村の中でも、七ヶ浜町に次いで2番目に狭いものとなっています。

※島嶼／小さな島々のこと。環境基本計画では、越の浦と浦戸諸島をあわせて島嶼部としている。

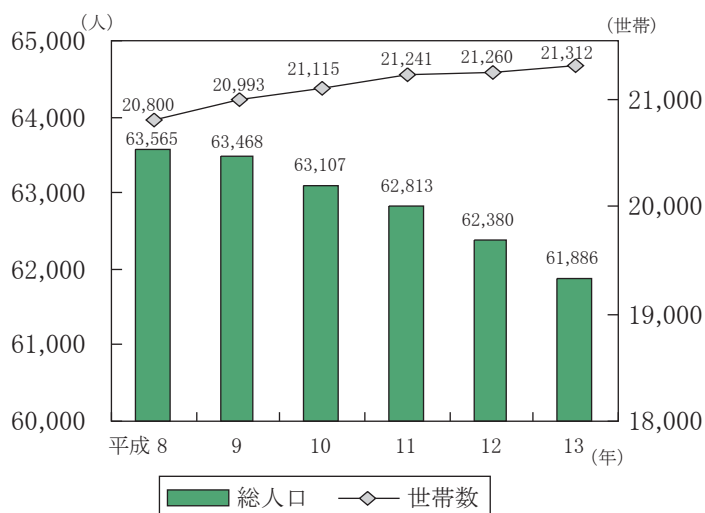
市の位置

東経	141° 1' 31"
北緯	38° 18' 41"
面積	17.85km ²

出典：「塩竈市統計書」

▶人口

人口は、平成13年12月末現在で61,886人となっており、過去5年間の推移を見ると、緩やかながら減少傾向にあります。

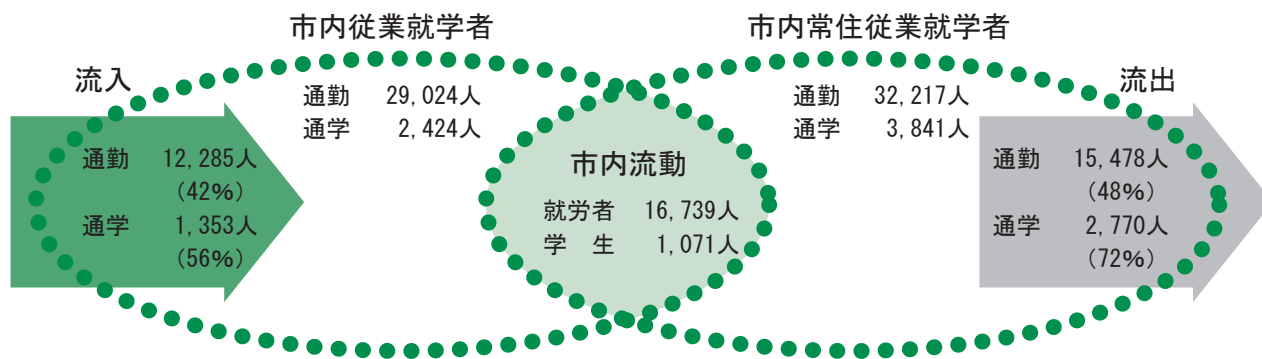


出典：「塩竈市統計書」

図1-1 総人口と世帯数の推移

▶人口流動

市内で従業する就業者のうち、他市町村からの通勤者は全体の42%、市に常住する就業者のうち、他市町村への通勤者は全体の48%となっている。また、市内の就学者のうち他市町村からの通学者は約56%、市に常住する就学者のうち、他市町村へ通学する人は約72%となっている。

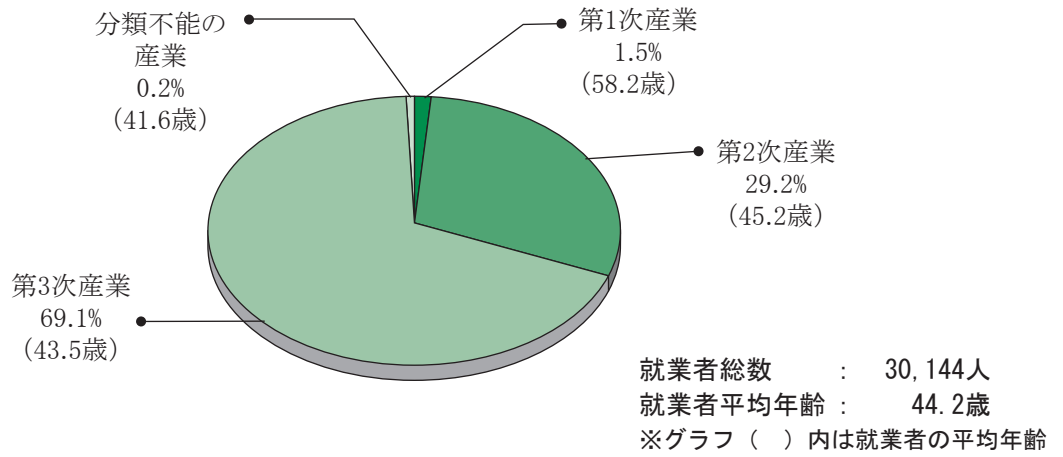


出典：「塩竈市環境現況調査報告書」

図1-2 塩竈市の通勤・通学における人口流動イメージ

▶ 産業

平成12年における就業者総数は30,144人であり、第3次産業の就業者が最も多くなっています。一方、第1次産業の就業者は全体の2%に満たず、就業者の平均年齢も高い状況にあります。



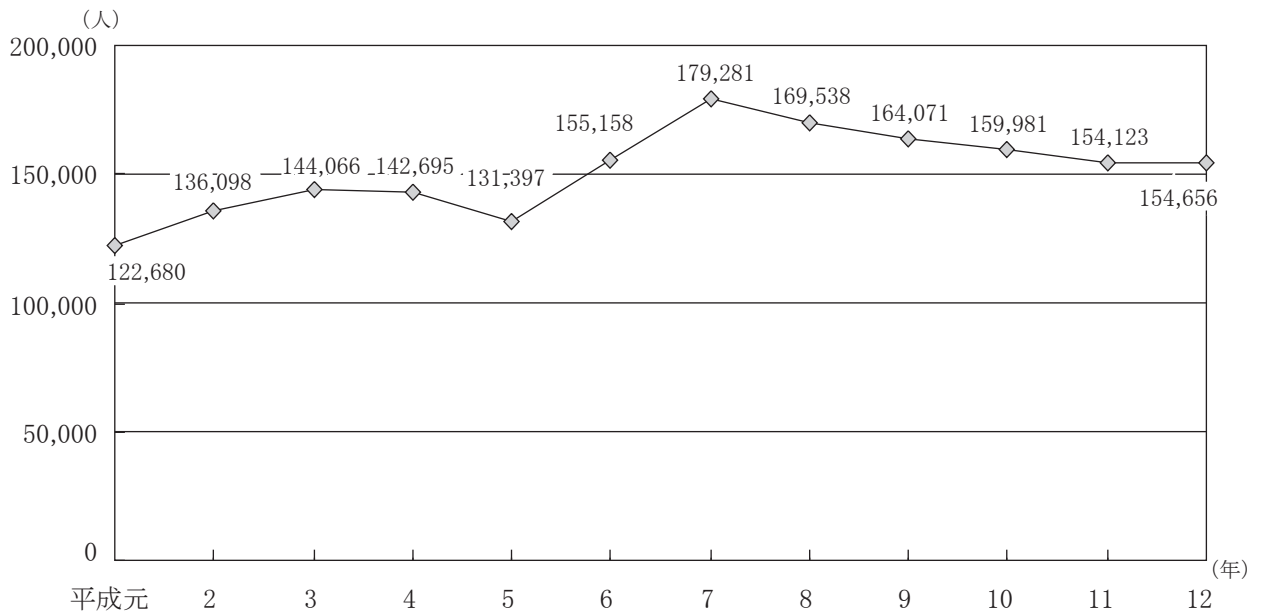
出典：「平成12年国勢調査」

図1-5 産業別の就業者構成(平成12年)

▶ 市内循環バスの利用状況

市内循環バスは公共施設やJR駅等を連携し、日常生活の利便性向上を図ることを目的に、昭和63年より運行開始し、平成8年にはマリゲート塩釜へ路線を延長してきています。

乗車人数は平成7年をピークに、平成8年以降減少傾向となっています。



出典：「市民課調」

図1-6 循環バス乗車人員の推移

▶ 市内JR各駅乗車人員の推移

市内には、JR東北本線とJR仙石線の2つの路線があり、JR東北本線には塩釜駅が、JR仙石線には、本塩釜、西塩釜、東塩釜駅の3駅があります。

各駅の乗降客の推移は全体的に減少の傾向にありますが、特に西塩釜駅で減少しています。

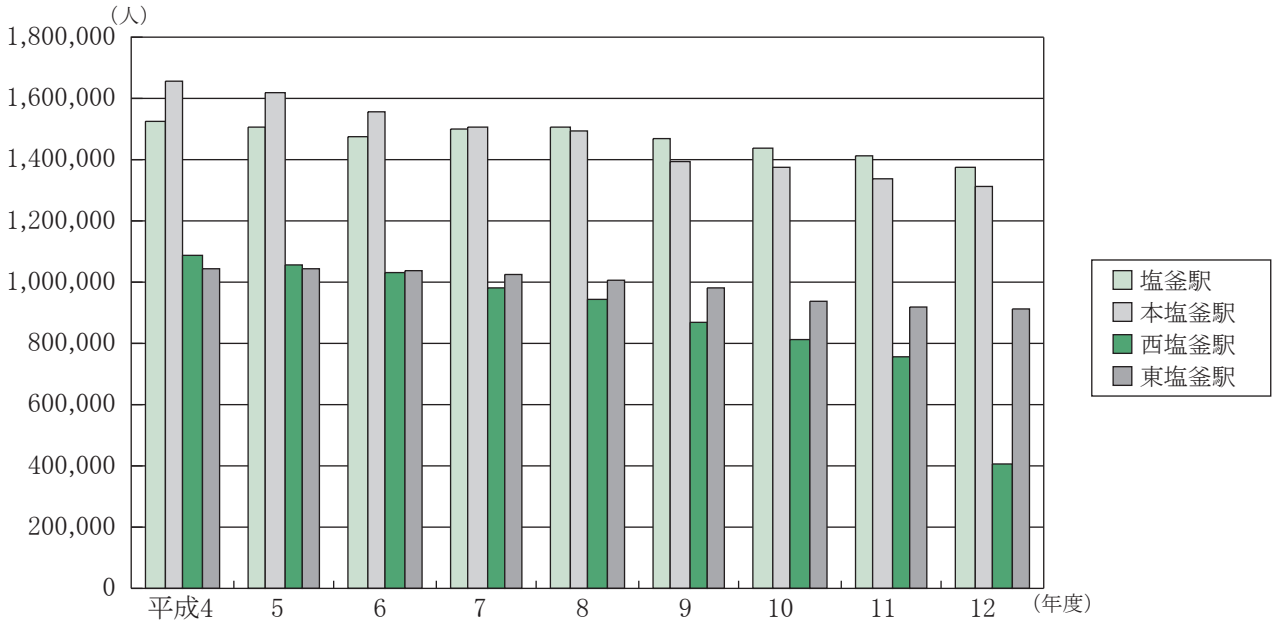


図1-7 JR各駅乗降人員の推移

出典：「塩竈市統計書」

▶ 市内自動車保有台数の推移

自動車保有台数は、乗用車、軽自動車については増加傾向にあり、貨物自動車などその他の車種については減少の傾向にあります。

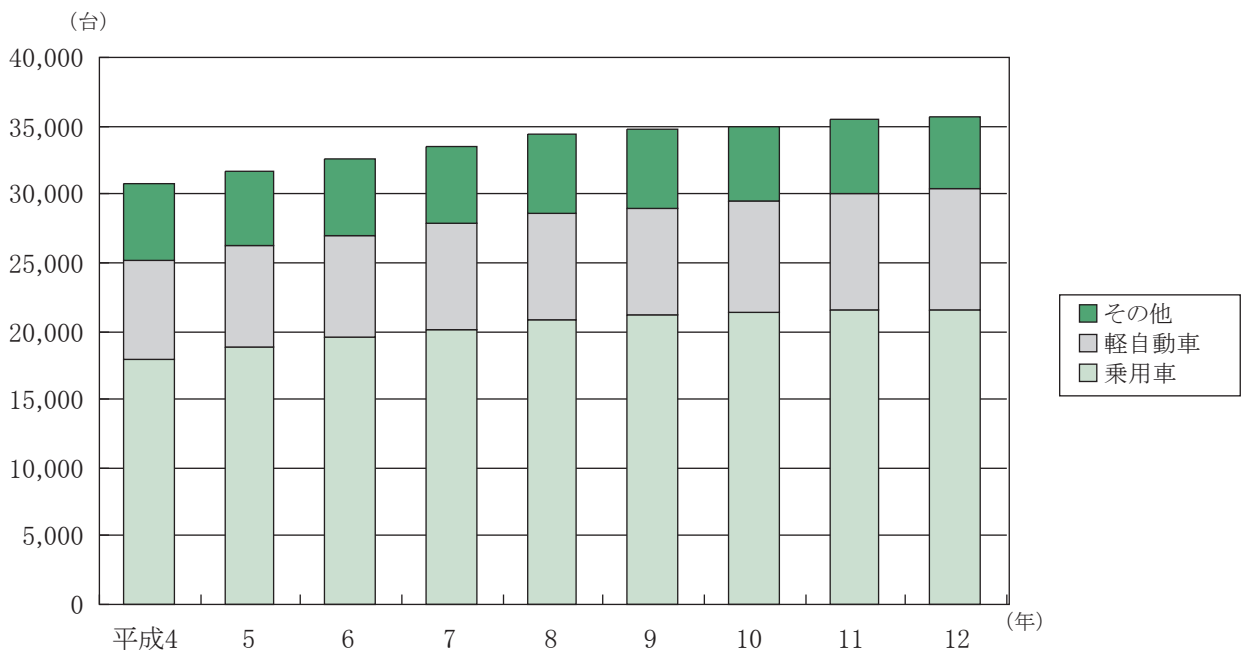


図1-8 自動車保有台数の推移

出典：「塩竈市統計書」